

Makita



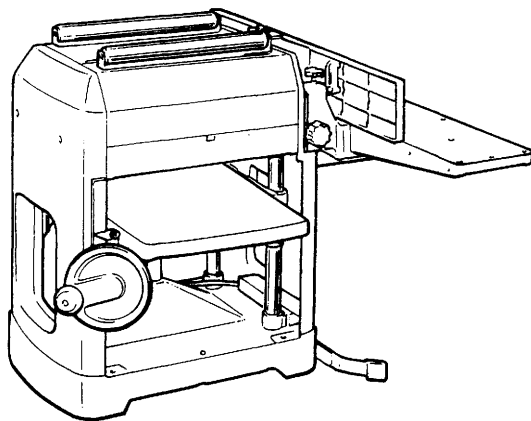
二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地（アース）しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

312mm自動カンナ

 モデル 2030S

取扱説明書



このたびは マキタ312mm自動カンナを お買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

電 動 機	機	直巻整流子電動機						
電 圧	圧	単相100ボルト						
電 流	流	15アンペア						
周 波 数	数	50-60ヘルツ						
消 費 電 力	力	1,430ワット						
機 体 寸 法	法	幅704×長さ900×高さ574mm						
重 量	量	44kg						
〈自動カンナ盤〉								
回 転 数	数	毎分9,000回転						
最 大 切 削 幅	幅	312mm						
切 削 材 厚 さ	さ	4~160mm						
最大切り込み深さ		<table border="0"> <tr> <td>切削幅 150mm以下</td> <td>3.0mm</td> </tr> <tr> <td>切削幅 150~240mm</td> <td>1.5mm</td> </tr> <tr> <td>切削幅 240~312mm</td> <td>1.0mm</td> </tr> </table>	切削幅 150mm以下	3.0mm	切削幅 150~240mm	1.5mm	切削幅 240~312mm	1.0mm
切削幅 150mm以下	3.0mm							
切削幅 150~240mm	1.5mm							
切削幅 240~312mm	1.0mm							
送 材 速 度	度	毎分10.5m						
定 盤 寸 法	法	幅312×長さ500mm						
重 量	量	34kg						
〈手押カンナ盤〉								
回 転 数	数	毎分9,000回転						
最 大 切 削 幅	幅	155mm						
最大切り込み深さ		3.0mm						
定 盤 寸 法	法	幅155×長さ900mm						
重 量	量	10kg						

- ・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の △ 警告 △ 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は △ 警告 と △ 注意 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、△ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

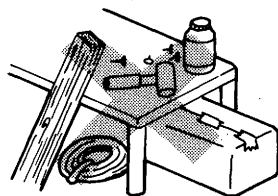
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

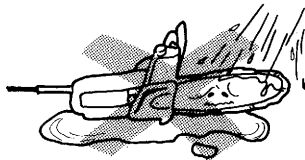
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

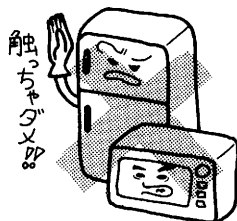
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4. 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。

(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



⚠ 警告

5. 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. 無理して使用しないでください。

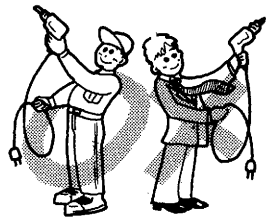
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



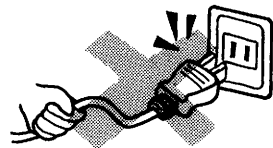
10. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



11. コードを乱暴に扱わないでください。

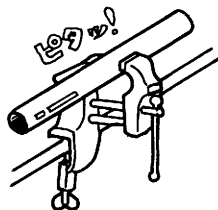
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



⚠ 警告

12. 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

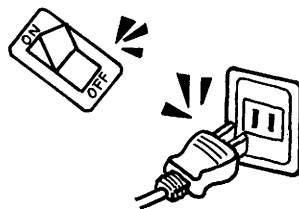


14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



16. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

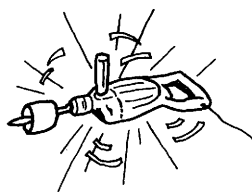
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



20. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

自動カンナ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、自動カンナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - 回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
3. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. カンナ刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
3. 手押カンナ盤の安全カバーを固定したり、取りはずして使用しないでください。
 - けがの恐れがあります。
4. 手押カンナ盤の安全カバーは、カンナ刃を覆い、円滑に開閉することを確認してください。
 - けがの恐れがあります。
5. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取付ボルトを十分に締め付けてください。
 - ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
6. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
 - 手などが触れると、けがの原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
8. 手袋を着用して作業しないでください。
 - カンナ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
9. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
 - 刃こぼれだけでなく、けがの原因になります。
10. 回転中は排出口内の切り屑を取り除かないでください。
 - カンナ刃が止まってから木の棒などでかき出すようにしてください。けがの原因になります。

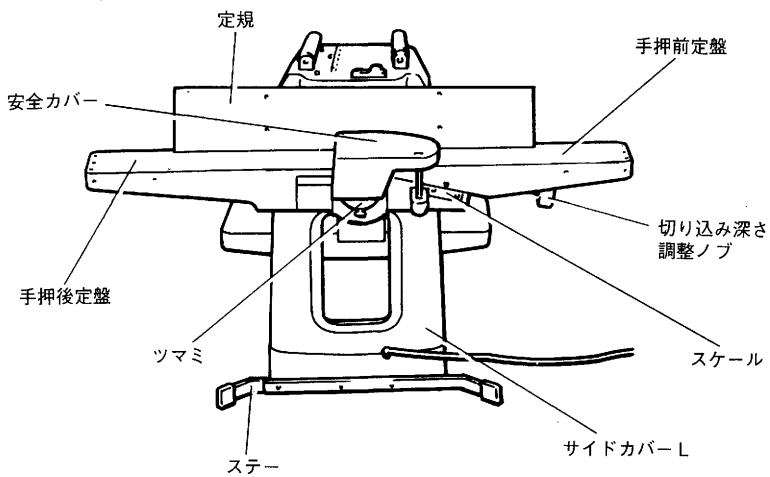
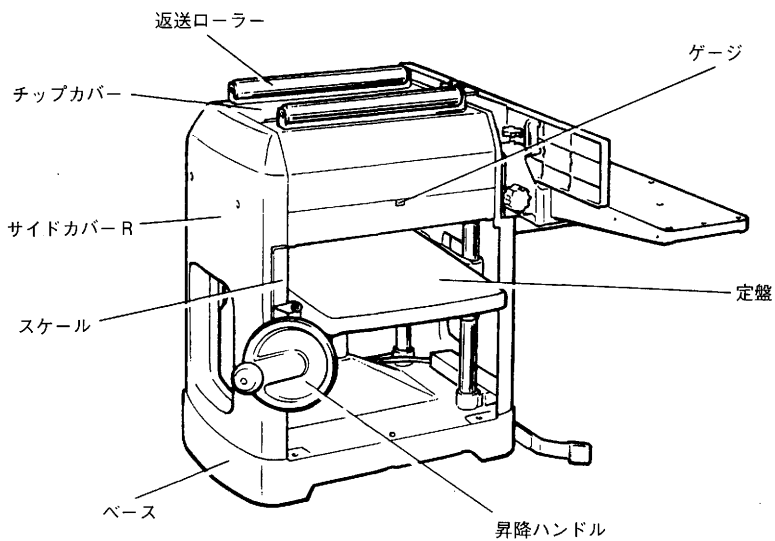
注

- 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.00mm ²	20m

各部の名称



標準付属品

- ボックスレンチ 9



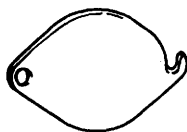
- ネジ回し



- 三角定規



- プーリーカバー



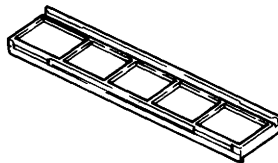
- タッピンネジ3×8(2ヶ)
(プーリーカバー取付用)

- フラットワッシャ 3
(プーリーカバー取付用)

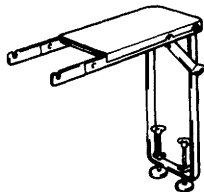
- マグネチックホルダ(2ヶ)
(スローアウェイブレード仕様)



- ブレードゲージ
(スタンダードブレード仕様)



- 継ぎ増し定盤セット品



別販売品のご紹介

• カンナ刃

自動カンナ盤用 スローアウェイブレード(使い捨て刃)
(刃幅312mm) 普通カンナ刃
超硬カンナ刃

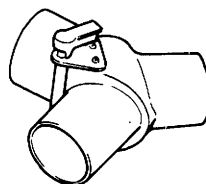
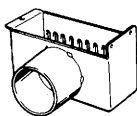
手押カンナ盤用 スローアウェイブレード(使い捨て刃)
(刃幅155mm) 普通カンナ刃
超硬カンナ盤

• フードセット品

切り屑排出口に取り付けて、弊社木工用集じん機(モデル410)を接続しますと、切り屑が飛び散らず清潔な作業ができます。

(自動カンナ盤用)

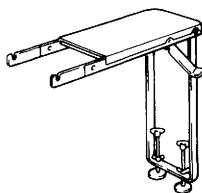
(手押カンナ盤用)



• Yジョイント

自動カンナ盤と手押カンナ盤の集じんホースを接続するときにご使用ください。

• 継ぎ増し定盤セット品



• 分決めストップセット品

同じ厚さの材料を数多く作るときに使用すると便利です。

作業前の準備

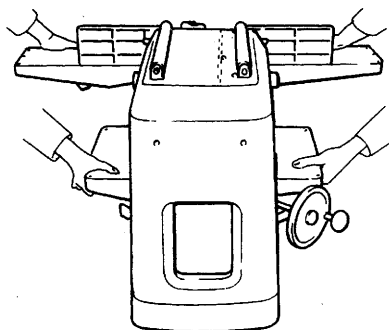
運搬・移動

⚠ 注意

本機の移動時は、足元に気をつけてください。

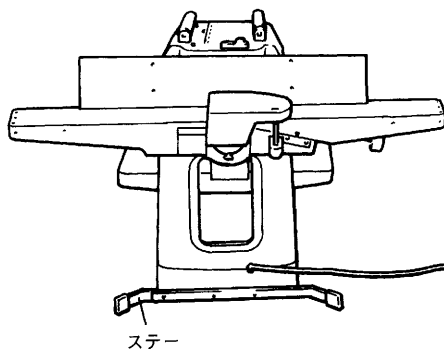
- けがの原因になります。

- 機械を運搬、移動するときは、自動定盤および手押定盤の両端を持ってください。
- 自動車などに載せて運搬するときは、機械が動かないように十分固定してください。



機械の設置

- 機械は、明るくて足場のよい平坦な場所に安定した状態で設置し、ベースの取り付け穴を利用してボルトでしっかり固定してください。
- 簡易に設置される場合は、ベース側面のステーを広げますと機械の安定性がよくなります。
ステーを広げるときは、固定用のボルト2本をはずし、取り付け穴を1個ずらして固定してください。



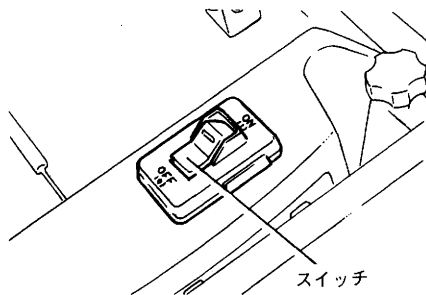
スイッチの操作

⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

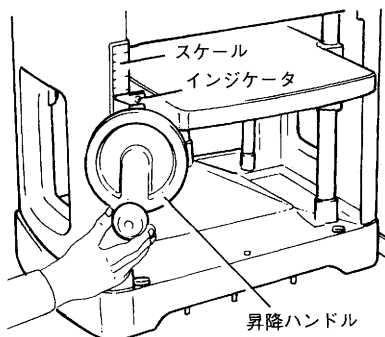
- スイッチは、「ON」側を押すと入り、「OFF」側を押すと切れます。



自動カナ盤の使い方

寸法表示

- 昇降ハンドルを1回転させると自動定盤が2mm動きます。
昇降ハンドルを回して、スケール目盛にインジケータを合せてください。目盛とインジケータが合ったところが、仕上がり寸法になります。
- スケール目盛は右側が「寸」、左側が「cm」目盛です。

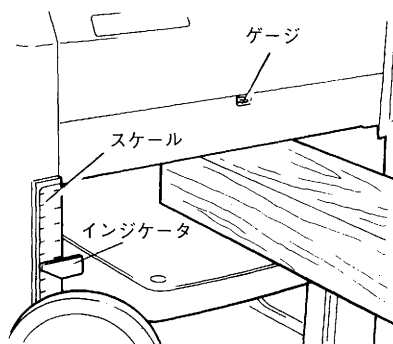


切り込み深さの調整

- 切削幅によって最大切り込み深さが異なります。右表を参考にして切り込み深さを設定してください。
- 削りしろが表の数値より大きいときは、2回以上に分けて作業してください。
- ゲージの下に材料を置いて、昇降ハンドルを回して、自動定盤を上げるとゲージが動きます。ゲージの動いた分量が切り込み深さになります。スケール目盛に示された仕上がり寸法を見ながら、切り込み深さを調整してください。

〈最大切り込み深さ〉

切 削 幅	最大切り込み深さ
150mm以下	3.0mm
150 ~ 240mm	1.5mm
240 ~ 312mm	1.0mm



注

- 切り込み深さや寸法合せは、必ず自動定盤を上げる方向で行なってください。
- 切り込み深さを設定するときは、材料を自動定盤に密着させてください。材料の前が浮いたり、後が浮いた状態では、設定した切り込み深さと実際の切り込み深さが異なります。

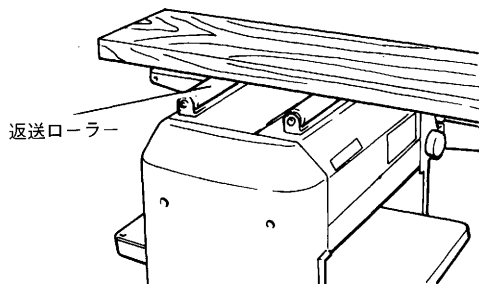
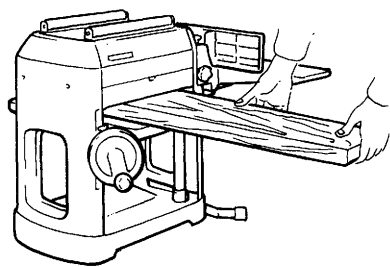
切削作業

⚠ 注意

2本以上の材料を同時に切削する場合は、できるだけ離して切削してください。

- 薄い材料がカンナ刃によってはね返されることがあり、けがの恐れがあります。

- 材料を自動定盤面に水平に接触させ、切り込み深さを設定します。材料を自動定盤面に沿わせて挿入してください。
長くて重い材料を切削するときは、削り始めと削り終わりに材料の端を少し支えてください。材料の両端部の段付きが少なくなります。
- 何回も繰り返して切削する場合は、返送ローラーを利用しますと作業が楽に行なえます。



注

1. 次のような材料は、切削しないでください。
• 送材できなくなります。

1	 115mm以下	長さが115mm以下のもの
2	 115mm以上 切削面	長さ115mm以上の切欠溝のあるもの
3	 115mm 切削面	115mm間隔のところ切欠溝のあるもの

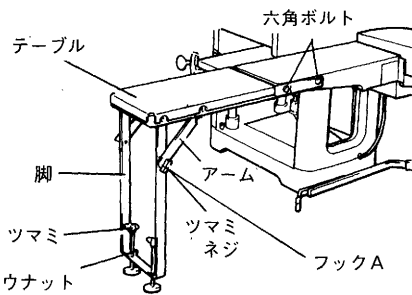
2. 切削中に送材がストップした場合はそのまま放置しないでください。
• 送材がストップしたまま放置しますとローラの異常摩耗を引き起こします。

手押カナ盤の使い方

継ぎ増し定盤セット品の取り付け方

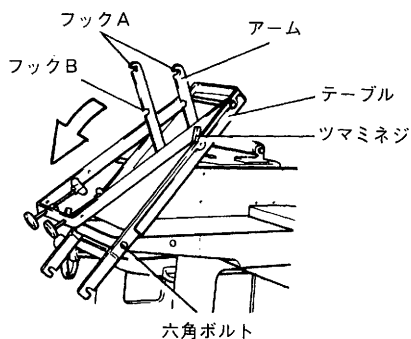
【取り付け方】

- 長い材料などを切削される時は、手押カナ盤の後定盤に継ぎ増し定盤を取り付けますと作業しやすくなります。次のように取り付けてください。
- ①継ぎ増し定盤を図のように取り付け、六角ボルト4本を仮締めしてください。
- ②脚を立てて、アームのフックAをツマミネジに引っ掛けてしっかり締め付けてください。
- ③テーブル面の高さが、後定盤と同 ちょうナットになるようにツマミで調節し、ちょうナットで固定してください。
- ④高さが揃いましたら、4本の六角ボルトをしっかり締め付けてください。



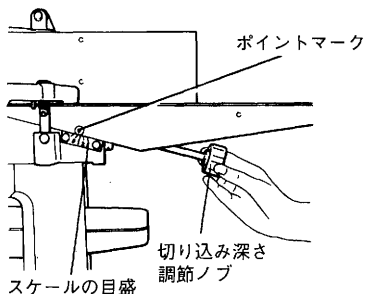
【折畳み方】

- 継ぎ増し定盤を取り付けたまま運搬、移動される時は、脚を折り畳むと運搬、移動がしやすくなります。次のように折り畳んでください。
- ①図のようにテーブルを上げ、2本の六角ボルトで固定してください。
- ②脚を手で支えてツマミネジを緩め、アームをはずしてください。
- ③脚を矢印の方向へ折り畳み、フックBをツマミネジに引っ掛けて、しっかり締め付けてください。



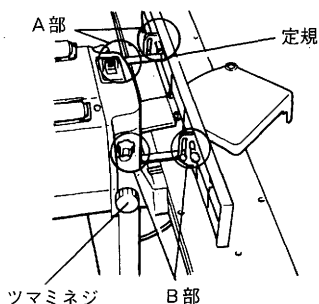
切り込み深さの調節

- 切り込み深さは、0～3mmの範囲で調節できます。お望みの切り込み深さに調節してください。
- 切り込み深さの調節は、切り込み深さ調節ノブを右に回すと前定盤が下がり、左に回すと上がります。手押定盤のポイントマーク▼を、スケールの目盛に合わせてください。



定規の角度調節

- 定規は0～45°の範囲で傾けることができます。次のように調節してください。
- ① ツマミネジを緩めて、定規を少し引き出してください。
 - ② A部とB部の六角ボルトを緩めて定規を傾け、作業される角度に合わせてください。
 - ③ 角度が決まりましたら、A部とB部の六角ボルトをしっかり締め付けてください。

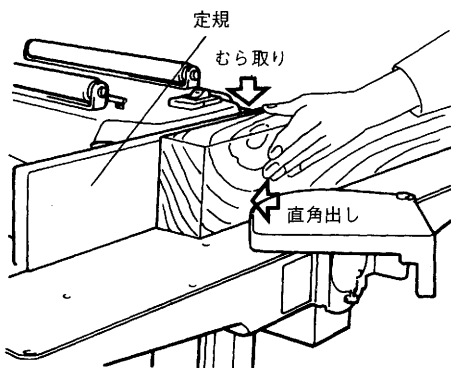


切削作業

⚠ 注意

1. 安全カバーを固定したり、取りはずして使用しないでください。
 - けがの恐れがあります。
2. 安全カバーは、カンナ刃を覆い、円滑に開閉することを確認してください。
 - けがの恐れがあります。
3. 薄板(厚さ4cm以下)や小物(長さ40cm以下)を切削するときは材料の長さ、厚さおよび幅に適した専用の押え具を使用してください。
 - けがの原因になります。
4. 長さ140mm以下または、厚さ13mm以下の材料は切削しないでください。
 - けがの恐れがあります。

- 材料の木目、節などに注意して切削方向を決め、材料を前定盤の上に載せ、スイッチを入れてください。
- 材料は左手を前方、右手が後方になるように保持し、前方へゆっくり押し進めて削り始めます。
- 材料が後定盤にかかった後は、後定盤側を押し付けて切削してください。
- 直角出し作業は、材料の基準面を定規に押し付けて切削してください。
- むら取り作業は、材料を前定盤に軽く押し付けて切削してください。
- 材料が反っている場合は、凹面を定盤に当てて切削してください。
- 作業終了後は、スイッチを切ってください。



カンナ刃の取り付け・取りはずし

⚠ 警告

カンナ刃の取り付け・取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 電源をつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。

- 不用意に扱うと、切り傷の原因となります。

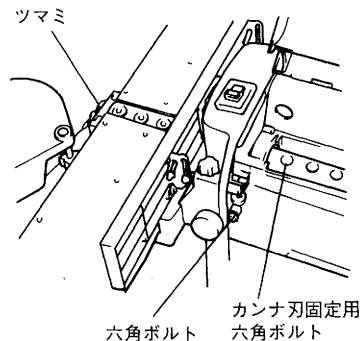
注

- カンナ刃の取り付け面は、きれいに掃除してください。
- カンナ刃は、重さの揃ったものを取り付けてください。重さの異なるものを使用すると振動が大きくなり、機械の寿命が低下します。
- スローアウェイブレードは使い捨てのカンナ刃です。再研磨できません。
- スローアウェイブレードは両刃式です。切れ味が悪くなったときは、反対側をご使用ください。
- スローアウェイブレードの反対側を使用されるときは、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。

自動カンナ盤の場合

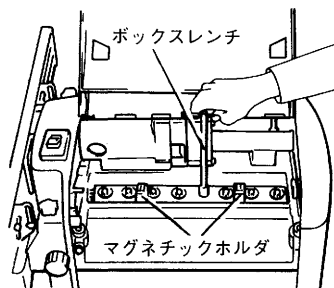
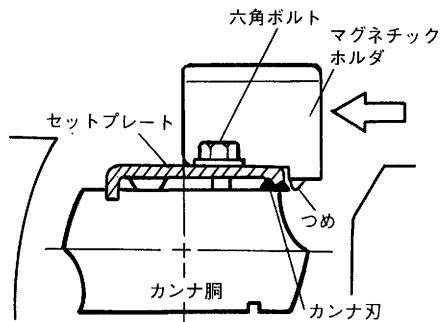
1. カンナ刃の取りはずし方

- チップカバー固定用の六角ボルトを緩めて、チップカバーを上を開いてください。
- 安全カバーを開いて、カンナ胴軸のツマミを回してください。
- カンナ刃固定用の六角ボルトが真上になる位置でストッパーが働いて、カンナ胴が固定されます。



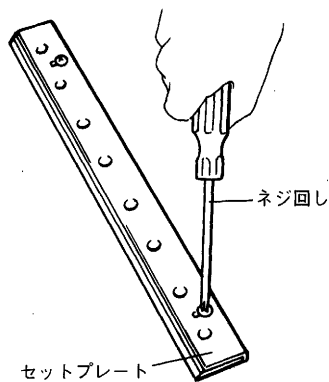
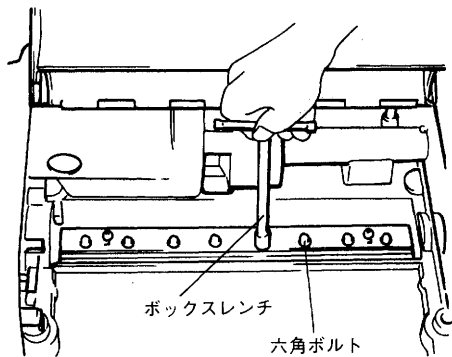
(1) スローアウェイブレード仕様

- ① 2個のマグネチックホルダを、図のようにセットプレートの上に載せてください。
- ② マグネチックホルダのつめが、カンナ刃に当たるまで矢印の方向へ押してください。
- ③ カンナ刃固定用の六角ボルト8本をはずしてください。
- ④ マグネチックホルダを持って真上に持ち上げ、セットプレートとカンナ刃をカンナ胴からはずしてください。
- ⑤ ロックプレートを押し、ツマミを180°回してカンナ胴を固定してください。
- ⑥ 反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。



(2) スタンダードブレード仕様

- ①カンナ刃固定用の六角ボルト 8 本を取りはずしてください。
- ②セットプレートとカンナ刃を真上に持ち上げてカンナ胴から取りはずしてください。
- ③ロックプレートを押し、ツマミを 180° 回してカンナ胴を固定してください。
- ④反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。
- ⑤取りはずしたカンナ刃のセットプレートを、ネジ回しで取りはずしてください。



2. カンナ刃の取り付け方と調整

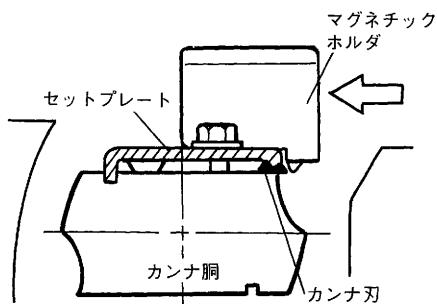
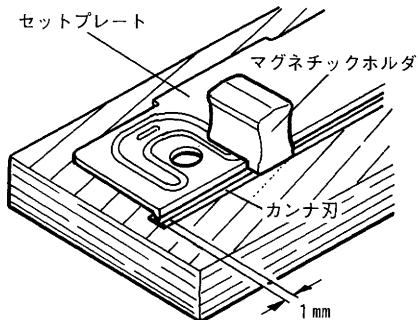
⚠ 注意

カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチ 9 以外では締め付けしないでください。

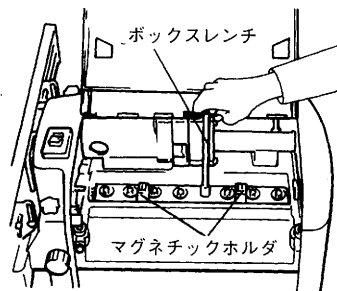
- 締め過ぎや、締め付け不足となりけがの原因になります。

(1) スローアウェイブレード仕様

- ①長さ300mm、幅100mm程度の平な木の板の上にカンナ刃を置き、カンナ刃の溝にセットプレートの凸部をはめてください。
- ②カンナ刃がセットプレートの両端から1mmほど出るようにセットプレートの位置を調整してください。
- ③マグネチックホルダを、図のようにセットプレートに取り付けてください。
- ④カンナ胴の溝にセットプレートのL部を入れ、セットプレートのボルト穴とカンナ胴のネジ穴を合わせて六角ボルトを取り付けてください。



- ⑤カンナ刃固定用の六角ボルトをしっかり締め付けて、マグネチックホルダを取りはずしてください。ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締め付力を強くして締め付けしてください。



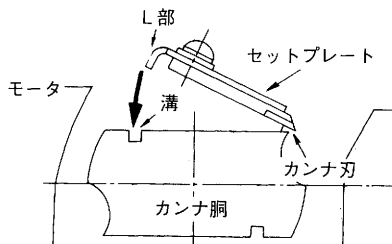
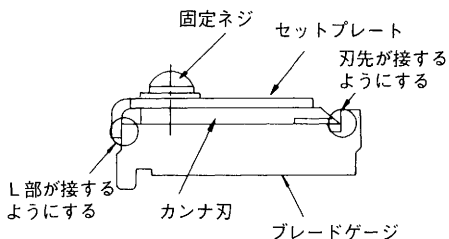
- ⑥反対側のカンナ刃も同様に取り付け、ロックプレートを押しながらカンナ胴をゆっくり回し、異常がないか確認してください。
- ⑦異常がなければチップカバーを閉じて、ボルトで固定してください。

注

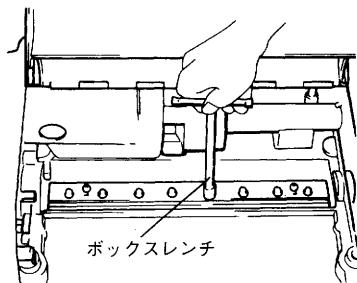
- セットプレートは、カンナ刃の溝に正しく入れて締め付けてください。
- チップカバーを開いた状態では、スイッチを入れないでください。

(2) スタンダードブレード仕様

- ①カンナ刃を付属のブレードゲージの上に置き、セットプレートを固定ネジでカンナ刃に取り付けてください。
- ②カンナ刃の刃先およびセットプレートのL部をブレードゲージに当てて、固定ネジを締め付けてください。
- ③セットプレートのL部をカンナ胴の溝に入れ、六角ボルトを取り付けてください。



- ④カンナ刃固定用の六角ボルトをしっかり締め付けてください。ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締め付力を強くして締め付けしてください。



- ⑤反対側のカンナ刃も同様に取り付け、ロックプレートを押しながらカンナ胴をゆっくり回し、異常がないか確認してください。
- ⑥異常がなければチップカバーを閉じて、ボルトで固定してください。

注

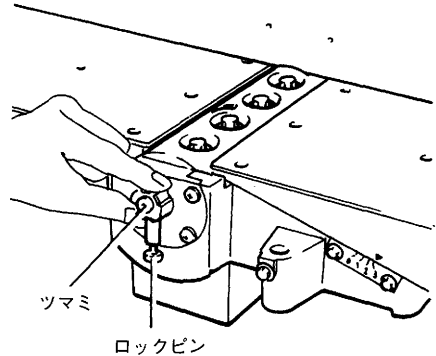
- チップカバーを開いた状態では、スイッチを入れないでください。

手押カンナ盤の場合

1. カンナ刃の取りはずし方

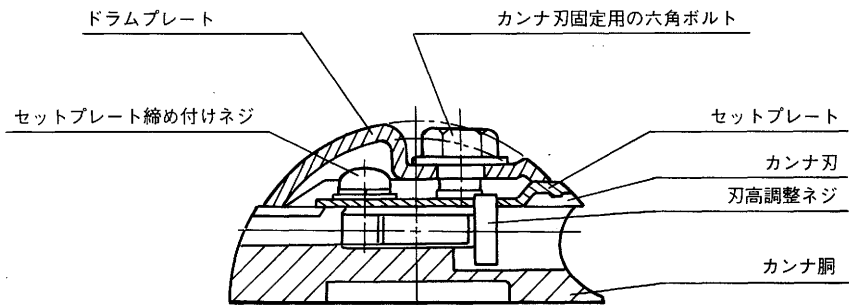
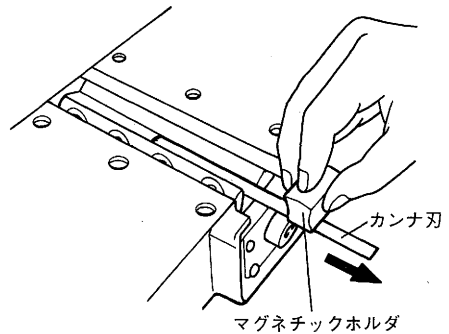
- 自動カンナ盤のチップカバーを閉めてください。
- 前定盤を最大切り込み深さの位置まで下げてください。
- 安全カバー固定用の六角ボルトを緩めて、安全カバーをはずしてください。
- 定規の角度を0°の位置にして、定規を自動カンナ盤側へ下げてください。
- ロックピンを引いてツマミを回し、カンナ刃固定用の六角ボルトが真上になる位置でカンナ胴を固定してください。

カンナ胴は、刃先または六角ボルトが真上になる位置の2箇所固定できます。



(1) スローアウェイブレード仕様

- ①カンナ胴の4本のカンナ刃固定用の六角ボルトを付属のボックスレンチで1回転緩めてください。
- ②カンナ胴の固定位置を刃先が真上になる位置にしてください。
- ③マグネチックホルダを使用し、カンナ刃をツマミ側へ取りはずしてください。
- ④反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。



(2) スタンダードブレード仕様

- 六角ボルト4本とドラムプレート、カンナ刃をはずしてください。

2. カンナ刃の取り付け方と調整

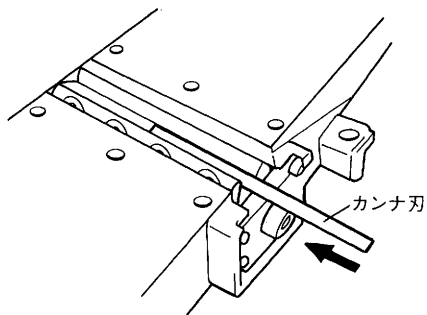
⚠ 注意

カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチ 9 以外では締め付けないでください。

- 締め過ぎや、締め付け不足となりけがの原因になります。

(1) スローアウェイブレード仕様

- ①カンナ胴の固定位置を、刃先が真上になる位置にしてください。
- ②ツマミ側より、カンナ胴とセットプレート間にカンナ刃を挿入してください。
- ③カンナ刃固定用の六角ボルトが真上になる位置でカンナ胴を固定してください。
- ④4本のカンナ刃固定用の六角ボルトをボックスレンチでしっかり締め付けてください。
ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締付力を強くして締め付けてください。
- ⑤反対側のカンナ刃も同様に取り付けてください。
- ⑥安全カバーを取り付け、正常に動くか確認してください。



注

- セットプレートに、カンナ刃の溝に正しく入れて締め付けてください。
- カンナ胴固定用のロックピンが解除されていることを確認してください。

- カンナ刃は、正確に寸法を出してありますから調整の必要ありませんが、万一、刃先が後定盤面より引込んでいる場合、出過ぎている場合は、下記のように調整してください。

①カンナ刃固定用の六角ボルトが真上になる位置でカンナ胴を固定してください。

②カンナ刃固定用の六角ボルトとセットプレート締め付けネジを緩めてください。

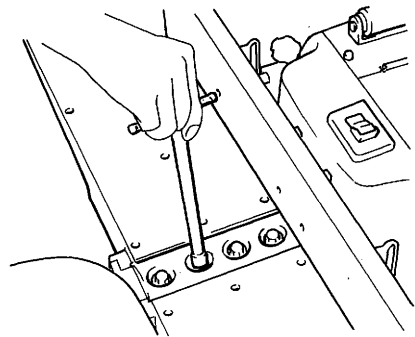
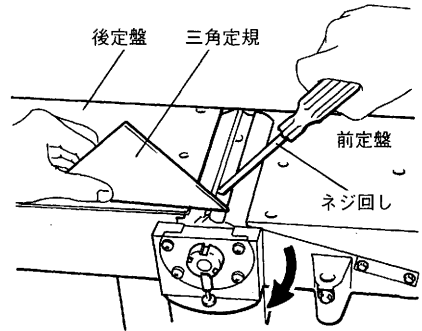
③カンナ胴の固定位置を、刃先が真上になる位置にしてください。

④三角定規の一边を後定盤に当て、刃先が三角定規に軽く当たるまで刃高調整ネジを回してください。

⑤ロックピンを引いてカンナ胴の固定を解除し、ツマミを矢印の方向へ回して左右の刃先の出具合が同じか確認してください。

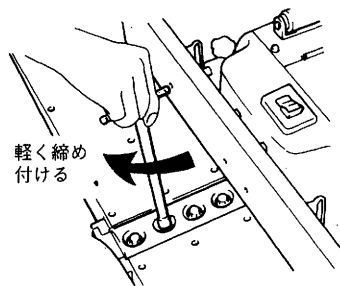
⑥刃先の出具合が左右で異なる場合は、刃高調整ネジで同じ出具合になるように調整してください。

⑦カンナ刃の調整ができましたらボルトが真上になる位置でカンナ胴を固定し、セットプレート締め付けネジ、カンナ刃固定用の六角ボルトを締め付けてください。ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締め付けを強くして締め付けしてください。



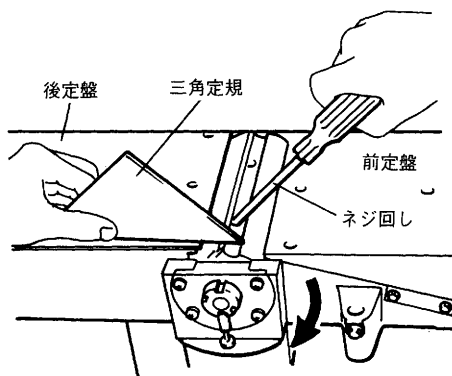
(2) スタンダードブレード仕様

- ①カンナ胴の刃高調整ネジ頭部に、カンナ刃の角溝を入れ、その上にドラムプレートを載せ、六角ボルトを取り付けて軽く締め付けてください。



- ②カンナ胴の固定位置を、刃先が真上になる位置にしてください。

- ③三角定規の一辺を後定盤に当て、刃先が三角定規に軽く当たるまで刃高調整ネジを回してください。

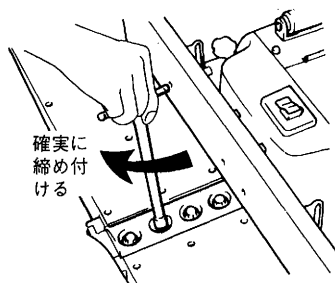


- ④ロックピンを引いてカンナ胴の固定を解除し、ツマミを矢印の方向へ回して左右の刃先の出具合が同じか確認してください。

- ⑤刃先の出具合が左右で異なる場合は、刃高調整ネジで同じ出具合になるように調整してください。

⑥カンナ刃の調整ができましたらボルトが真上になる位置でカンナ胴を固定し、六角ボルトをしっかり締め付けてください。

ボルトの締め付けに際しては、一度に強く締め付けず、中央部から外側へ交互に、また徐々に締め付け力を強くして締め付けしてください。



⑦刃高調整ネジを右へ回して軽く締め付けてください。

⑧反対側のカンナ刃も同様に取り付け、調整してください。

⑨安全カバーを取り付け、正常に動くか確認してください。

注

• カンナ胴固定用のロックピンが解除されていることを確認してください。

手押カナナ盤の着脱について

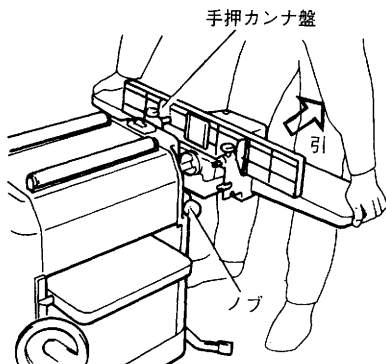
⚠ 注意

手押カナナ盤部を着脱するときは、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。電源をつないだまま行くと事故の原因になります。

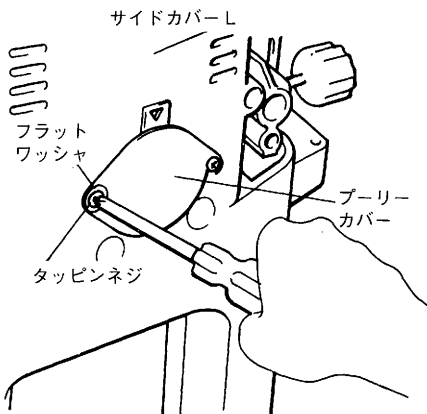
- 本機は、自動カナナ盤から手押カナナ盤部を容易にははずすことができます。手押カナナ盤部をはずすと一人で持ち運びができ、運搬が楽になります。

1. 手押カナナ盤部の取りはずし方

- 左右のノブを緩め、手押定盤の両端を支えながら図のように手前に引くと取りはずせます。

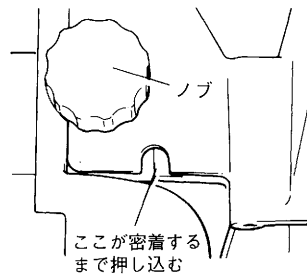
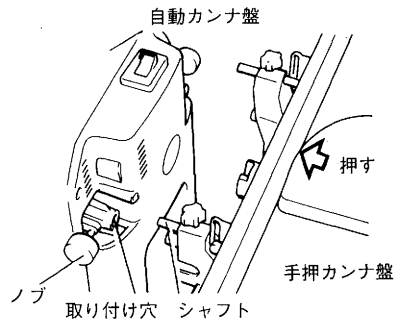
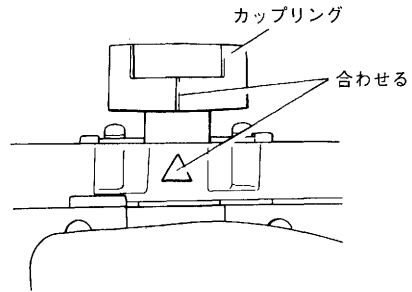
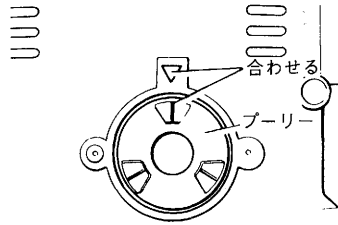


- 手押カナナ盤部をはずして自動カナナ盤で切削作業する場合は、サイドカバーLの開口部に付属のプーリーカバーをフラットワッシャ、タッピンネジで取り付けてください。



2. 手押カナナ盤部の取り付け方

- 自動カナナ盤のプーリーカバー取り付けネジを少し緩めて、プーリーカバーを開いてください。
- 自動カナナ盤のプーリー側面の線とサイドカバーLの▽印を合せてください。
- 手押カナナ盤のつまみを緩めて、定規をはずしてください。
- 手押カナナ盤のカップリング外周部の線とフレーム部の▽印を合せてください。
- 手押カナナ盤の2本のシャフトを自動カナナ盤の取り付け穴に合せて、図の矢印の方向へ押し込んでください。
- ノブ横の切り欠き部から覗いて、手押カナナ盤が正しい位置に取り付いているか確認してください。
手押カナナ盤のフレームが、自動カナナ盤のフレームに密着したところが正しい位置です。



- 手押カナナ盤が取り付けましたら、ノブを締め付けて固定してください。
- 手押カナナ盤の定規を取り付けてつまみで固定してください。

ブレード仕様の変更について

ブレード仕様の変更について

- 本機は下記の部品を交換することによって、スローアウェイブレード仕様をスタンダードブレード仕様に、またスタンダードブレード仕様をスローアウェイブレード仕様に変更できます。

ブレード仕様を変更される場合は下記の部品をお買い求めください。

仕様変更に必要な部品

	スローアウェイ仕様に変更	スタンダード仕様に変更
自動カナナ盤	セットプレート310 …… 2 スローアウェイ ブレード(312mm) …… 2 マグネチックホルダ …… 2	セットプレート312 …… 2 ⊕ナベ小ネジM4×5 …… 4 普通カナナ刃(312mm) …… 2 ブレードゲージ …… 1
手押カナナ盤	セットプレート155 …… 2 スローアウェイ ブレード(155mm) …… 2 ナベ小ネジM4×10 …… 4	普通カナナ刃(155mm) …… 2

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずメインスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 電源をつないだまま行くと、事故の原因になります。

注

- 機械の摺動部・回転部は、さびないように使用した後は油を塗ってください。

カーボンブラシの交換

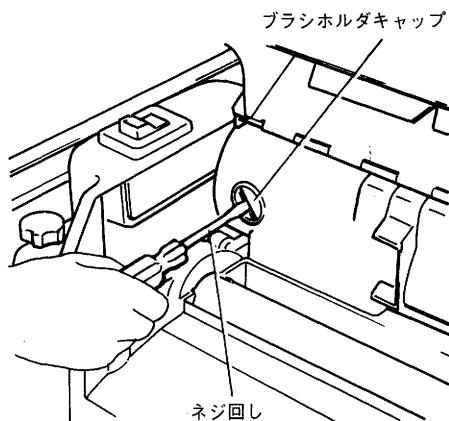
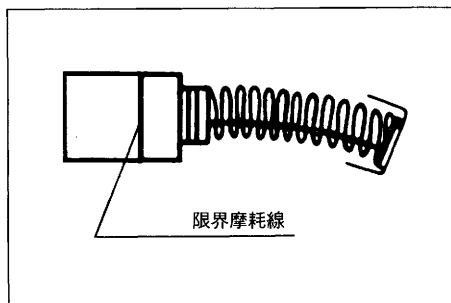
- カーボンブラシは、時々取りはずして点検してください。

カーボンブラシが限界摩耗線まで摩擦したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動かか確認してください。

新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

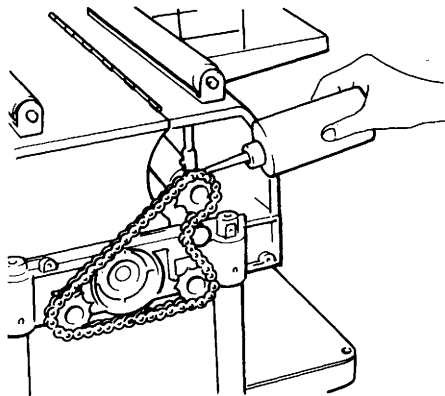
- チップカバーをはずし、ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。



注油について

- チェーン、昇降ネジ部には、時々機械油を注油してください。
チェーンの注油に際しては、サイドカバーRをはずしてください。



ご修理の際は

- 修理はご自分でなさないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店
または裏面掲載の最寄のマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (31) 6501	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881643C5

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)